

## 神聖王のポリティクス 西部カリマンタンのダヤック人王権の事例から

西島薰（京都大学）

インドネシア各地では王権の復興現象が相次いでいる。本発表で取り上げる西部カリマンタンにおけるダヤック人の王であるウルアイ王の事例でも、王は地方社会において着実に影響力を伸長させていている。ただし、周縁部では神聖王としてのウルアイ王への信仰が興隆している一方、中心部ではその権威が不安定化するという正反対の動きがみられる。本発表では、ウルアイ王権の事例を通じて神聖王の権威が空洞化している要因について明らかにする。

王は人々から差異化された存在であることが指摘されてきた〔松原 1991〕。王は社会的規範からは逸脱した存在であり、王と人々の関係は緊張をはらんでいる。グレーバーは「逆行的神聖化」(adverse sacralization)という概念を提起し、王が神聖化されると同時に政治的に無力化される逆説的過程を指摘している。グレーバーによれば、差異化された存在である王は、人々との「本質的な戦争」(constitutive war)状態に置かれている〔Graeber 2017: 389〕。王が追従者の支持を獲得し人々にたいして優位に立てば王は「専制化」する。他方、人々が王にたいして優位に立つと、人々は王に様々な禁忌を課すことで王の権威を抑制するようになる。王は禁忌を課されることで儀礼的に隔離され神聖化される一方、人々の支配下に置かれる。このように「逆行的神聖化」とは神聖王と専制的な王を両極に置き同一線上でとらえる概念である。また、王と人々を二項対立的に並置するため、王権を一枚岩の体系としてとらえる傾向にある。本発表では、「専制化」と「逆行的神聖化」は二者択一の関係にあるのではなく地域的濃淡を伴いつつ同時並行的に作用する現象であり、両者の逆進的な関係が神聖王の権威の空洞化をもたらしている状況を明らかにする。

本発表では、第1に神器に付随する禁忌が王を差異化する装置であることを明らかにする。ウルアイ王の管理する神器は、「世界を支える柱」であるとされており、広範な地域で起る災厄の原因として語られる。ウルアイ王の居住する地域（中心部）の人々の間では、王の役割は禁忌に従ってこの神器を管理することであるとされる。王が順守すべき禁忌は、食事、労働から移動まで日常生活のあらゆる領域に及ぶ。禁忌を課されたウルアイ王は労働や移動が制限され、政治経済的に無力化された状態に置かれる。王が禁忌を破れば「世界」の運行を乱すものとして人々から批判される。他方で、神器と一体となってそれを管理するウルアイ王は周縁部では神聖な存在とされ、王は周辺の

ダヤック人集落へ巡行するとともに周縁部の人々に儀礼を施してきた。ウルアイ王は中心部では神器の管理者であるとされる一方で、周縁部では王自身も神聖な存在とされている。

第2に、中心部と周縁部における対照的なウルアイ王の位相が王権の空洞化の要因になっていることを明らかにする。ウルアイ王は歴史的に集落を転々と移住しており、これらの移住には王が集落の慣習長と諍いを起こして追い出されるように移住した事例も含まれる。例えば、インドネシア独立期、他民族に抑圧されてきたダヤック人たちの間でダヤック民族主義運動が盛り上がっていた。ウルアイ王は人々に熱烈に歓迎され、民族を統合する王としての期待が高まっていた。そして、このときの巡行でウルアイ王は多額の金銭を持ち帰村した。他方、この金銭をめぐって当時のウルアイ王と村長の間にいさかいが起こり、王は集落から移住した。民主化・分権化期にも同様の状況が生じている。ダヤック民族主義の台頭の中で、ウルアイ王は再び求心力を発揮しており、周縁部では王の神器を称える儀礼がおこなわれている。地方政治家もウルアイ王に注目するようになり、多くの援助が舞い込むと同時に、王の神器祭祀は大規模化している。他方、周縁部における信仰の拡大とは対照的に、ウルアイ王の居住する中心部では政治化するウルアイ王は禁忌を逸脱したものとして大きな批判にさらされその地位は不安化している。このように、ウルアイ王の権威は周縁部で拡大すると、中心部では不安定化するという過程を繰り返してきたと考えられる。

本発表では「専制化」と「逆行的神聖化」は二者択一的な関係にあるのではなく、同時並行的に進行しえることを指摘する。そして両者の逆進的な関係が現在の王権の復興過程で権力の空洞化をもたらしていることを明らかにする。「専制化」や「逆行的神聖化」が王権を構成する重要な要素であるとするならば、本事例は神聖王権の歴史的展開を1つの典型として位置付けることができるだろう。

### 参照文献

- Graeber, David  
2017 Note on the Politics of Divine Kingship. In On Kings.  
David Graeber and Marshall Sahlins, pp.377-464. Hau Books.  
松原正毅  
1991 「はじめに」『王権の位相』松原正毅（編）、pp. i-xi、弘文堂。

キーワード：王権、神器、インドネシア、カリマンタン